

深山龍洞「清水比庵のうた」(胎毛筆で揮毫)

徳島県立文学書道館 書道特別展

# 巨匠 深山龍洞の仮名

2018年 2月14日(水)~3月25日(日)  
休館日/月曜日 開館時間/9:30~17:00

## ◆関連イベント

**講演会・作品解説** \* 申込必要(先着200人)

3月4日(日) 13:00~15:00

講師 井茂圭洞(日本芸術院会員)

**講演会・作品解説** \* 申込必要(先着200人)

3月11日(日) 10:00~12:00

講師 横山煌平(日展会員)

**展示解説** \* 申込不要(観覧券必要)

3月21日(水・祝) 11:00~11:30

講師 大林佳代(当館学芸員)

**観覧料** 一般 510円(400円) / 高校・大学生 350円(280円)

小・中学生 250円(200円) ( )内は20人以上の団体割引料金。

小・中・高校生は、土・日・祝日・春休み期間中無料。

高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

\* 講演会・作品解説の申込方法

はがき・FAX・メールのいずれかに、

「講演会・作品解説〇月〇日希望」と明記の上、

郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し

当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込めます。

主催 徳島県立文学書道館

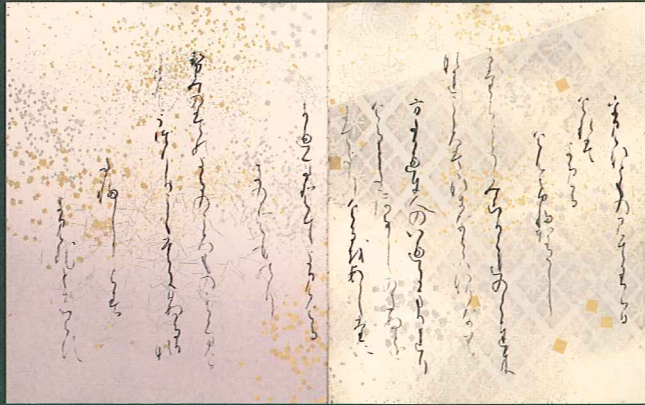
特別協力 神戸市立博物館

後援 徳島県教育委員会・徳島新聞社・NHK徳島放送局・四国放送

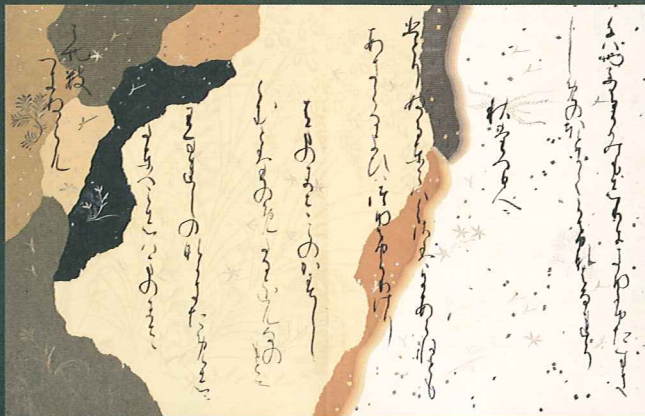


昭和を代表する仮名の巨匠・深山龍洞（みやまりゆうどう）1903〜80年、兵庫県淡路市生まれ。没後約40年を経た今も、その作品は新鮮で、現代的な魅力にあふれています。

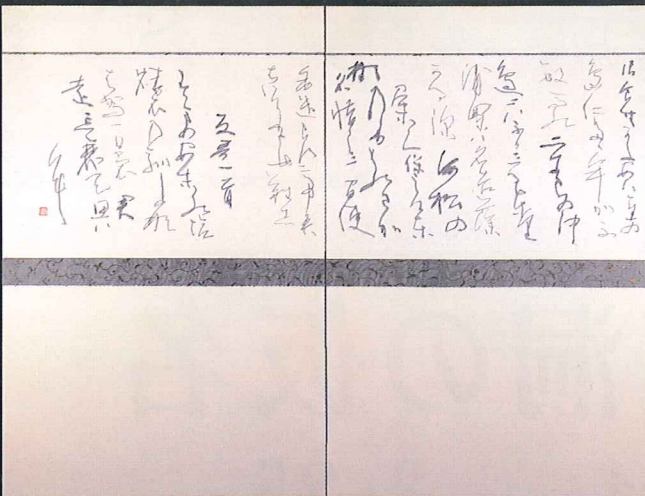
深山は、はじめ平安朝の古筆を徹底して研究・精習し、それらを基盤とした細字作品を中心に発表します。そのうち大字仮名運動の進展に伴って新たな表現を模索、とりわけ三跡のひとり藤原佐理の書状を研究した斬新な作品は世の注目を集めました。さらに正倉院文書など平安以前の古代仮名や、あらゆる古筆・漢字を徹底研究した成果は「昭和の古筆」と称賛されています。凄まじい鍛錬や学書に基づく高い技法と精神性、現代的センスによる多彩な作品の数々をご覧ください。  
本展では、深山が活動の拠点とした神戸市に残る作品を中心に約70点を展示します。



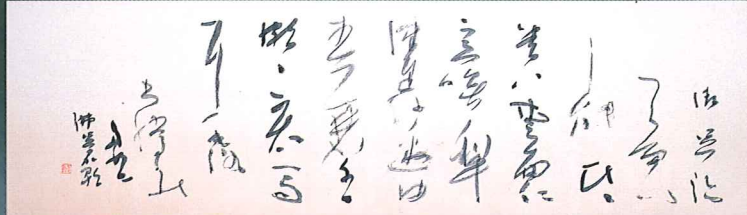
1



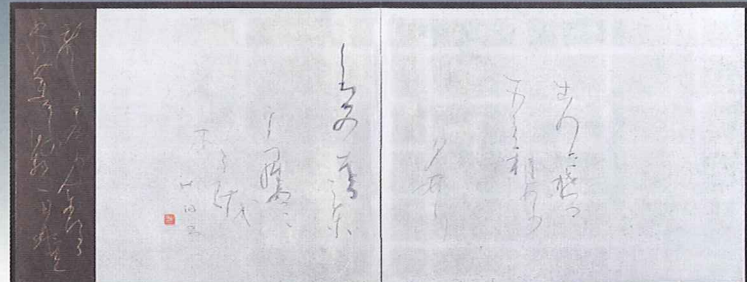
2



3



4



5



**交通アクセス JR徳島駅から**

**徒歩 約15分**  
JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

**バス**  
〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。  
〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

**タクシー・自動車 約5分**  
国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つめの信号を右折して約300m。

**インターチェンジから**  
徳島インターチェンジから車で約15分。  
鳴門インターチェンジから車で約25分。

**駐車場** 当館北側にあります(43台・大型バス2台)。

- 1 「古今和歌集卷十七」綴葉装冊子
- 2 「清正集」粘葉装冊子
- 3 「万葉長歌並びに反歌」二曲屏風
- 4 「仏足石歌」額
- 5 「比庵のうた」風炉先屏風
  - 1・2・5は神戸市立博物館蔵
  - 3・4は兵庫県立美術館蔵

**展示のお知らせ**

**春の書道収蔵品展 一仮名一**  
3月27日(火)〜6月17日(日)

**イベントのお知らせ**

**ことのはロビーコンサート**  
演奏者 浅田侑子(ギター)  
3月25日(日) 14:00〜15:00  
入場無料・申込不要